

横断幕やのぼりを掲げ、交通安全をアピールする高校生
＝11日、那覇市の奥武山公園



交通安全訴え 高校生が行進 700人参加、交流会も



県内の高校生が集まり、交通事故の防止について考える交流会

が11日、那覇市の県立武道館で開かれた。高校生約700人が参加。交通安全に向けての取り組みや意見を発表した後、奥武山公園周辺をパレードし、交通事故防止を訴えた。

交流会では、泊高校2年の祝嶺明美さんが、友人をバイクの事故で失った体験を發表。「もう会えない悲しさと悔しさでいっぱいだった。取り返しのつかないことになる前に、あらためて交通安全について考えてほしい」と呼び掛けた。

参加した高校生は、事故防止を訴える横断幕や手作りのプラカードを掲げてパレードし、歩行者や運転手に「交通ルールを守ろう」と訴えた。